

全国同時七夕講演会

「宇宙から降る素粒子の謎」

— 極高エネルギーの宇宙線とその起源 —

2011年7月9日 (土)

午後2時より

大阪市立科学館

大阪市北区中之島4-2-1

講師：荻尾 彰一



大阪市立大学

大学院理学研究科 准教授

【問い合わせ】

大阪市立大学

大学院理学研究科物理学教室

TEL 06-6605-2648, 2540, 2643, 2641

大阪市立科学館

企画広報グループ

TEL: 06-6444-5656

<http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/phys/tanabata11/>

主催：大阪市立大学、大阪市立科学館、(財)大阪科学振興協会、
中之島科学研究所、日本天文学会

共催：天文教育普及研究会

全国同時七夕講演会

「宇宙から降る素粒子の謎」

—極高エネルギーの宇宙線とその起源—

参加者募集

2009年は、ガリレオ・ガリレイが世界で初めて望遠鏡を宇宙に向けてからちょうど400年であることを記念し、国際連合、ユネスコ、国際天文連合はこの年を「世界天文年」と決めました。それにちなんだ企画として始まった「全国同時七夕講演会」には、毎年とてもたくさんの方々に御参加いただき、主催者にとっても、楽しい講演会となっています。今年もまた皆様に宇宙の話を楽しんでいただくために、「全国同時七夕講演会」を開くことになりました。この大阪市立科学館での講演会もその1つです。たくさんの方々のご来場をお待ちしております。

- 講師： 荻尾 彰一（大阪市立大学 大学院理学研究科 准教授）
- 演題： 宇宙から降る素粒子の謎 —極高エネルギーの宇宙線とその起源—
- 概要： 宇宙線は地球の外から常に降り注ぐ素粒子です。その源や、どうやってエネルギーを得るかなどが研究されています。なかには、あまりにも巨大なエネルギーと宇宙空間における直進性をもつ『極高エネルギー宇宙線』が存在し、天文学・宇宙物理学・素粒子物理学の広い分野から注目されています。講演では、まず宇宙線とは何かを解説し、最新の『極高エネルギー宇宙線』研究について、その魅力・意義と観測方法、結果について紹介します。

- 日時：平成23年7月9日（土） 14:00～16:00（開場13:30）
- 場所：大阪市立科学館 研修室
（〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1）
- 対象：中学生以上
- 定員：100名（希望者多数の場合は先着順）
- 参加費：無料
- 申込み：必要（締切り：平成23年7月2日）
電子メール（アドレス：tanabata11@sci.osaka-cu.ac.jp）にてお申し込みください。
電子メールを使えない場合は、下記問い合わせ先へお電話ください。

【問い合わせ】

- 大阪市立大学 大学院理学研究科 物理学教室
<http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/phys/tanabata11/>
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
TEL: 06-6605-2648, 2540, 2643, 2641
- 大阪市立科学館 企画広報グループ
<http://www.sci-museum.jp>
〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1
TEL: 06-6444-5656, FAX: 06-6444-5657



会場へのアクセス：
詳しくは「大阪市立科学館」のホームページをご覧ください。
http://www.sci-museum.jp/server_sci/info/access.html

主催：大阪市立大学、大阪市立科学館、(財)大阪科学振興協会、中之島科学研究所、日本天文学会
共催：天文教育普及研究会